



人口のうごき

昭和60年9月1日現在

住民基本台帳人口	前月に対する増減
男 2,019 人	4 人
女 2,211 人	14 人
計 4,230 人	18 人
世帯数 1,454 戸	4 戸

故、猪鹿倉義則町長の の町葬が執り行われる

つつしんで、故人の御冥福を

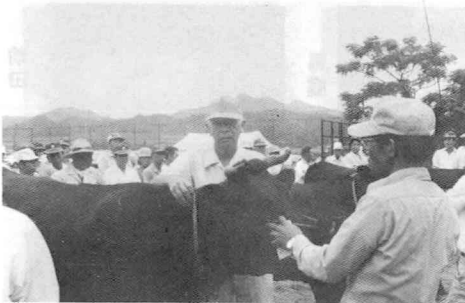
お祈りいたします



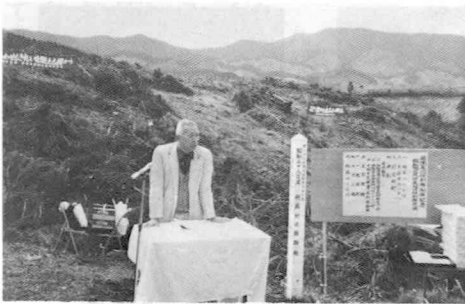
議会答弁中の町長



町と町民を結ぶ県内初の「広報無線」完成 昭和54年5月9日



畜産に情熱を燃やし、「畜産基地建設事業」に意欲的だった



「全国植樹祭記念昭和58年度肝属郡植樹祭」昭和58年3月8日



「車座県政談会」町民といっしょに 昭和53年7月26日

ありし日の猪鹿倉町長をしのんで!!



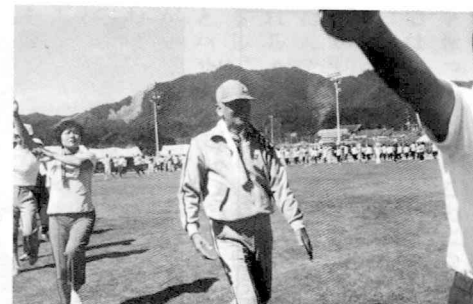
待望の「中央運動場」完成 昭和52年10月1日



春のあかちゃんコンクール「すこやかに育て」と 昭和55年9月



町政施行20周年記念式典 昭和56年11月3日



ぎこちないながらも町民と共に笑顔で町民音頭に参加

猪鹿倉義則町長が死去



猪鹿倉義則町長は、去る9月24日午前6時8分、食道癌のため、入院先の鹿児島市の国立南九州中央病院で死去されました。町は葬儀委員会を編成し、昭和26年から村議会議員、助役4期、町長3期目と、町発展のために御尽力され、多くの町民に親しまれていた同氏の功績に報いるため、町葬の礼をもって葬儀を行い、町民一同で故人の御冥福を祈ろうと10月2日田代町開発センターで町葬を行いました。

故猪鹿倉義則町長の町葬は町内外の政財界、官公署、各種団体関係者、一般町民など約一千百人が参列し、田代町開発センターでしめやかに行われました。参列者が見守るなか、家族に抱かれ会場に到着した故猪鹿倉町長の遺骨、位はい、遺影は、町長職務代理者助役松田進葬儀委員長、中原正美収入役、池田一雄教育町が受け取りそれぞれ祭壇に安置されました。一同合掌、礼拝のあと読経の流れるなか、猪鹿倉町長との最後のわかれを悲しみながら、次々に焼香し故人の冥福を祈りました。続いて町長職務代理者助役松田進氏が、突然の町長の御逝去に接し、田代町々民とし

さようなら

猪鹿倉町長



焼香する近隣市町長

猪鹿倉町長の経歴

大正九年十一月一日生まれ（満六十四歳）昭和十五年根占町立青年学校本科卒業、昭和二十六年村議会議員当選以来四期、副議長を歴任、昭和三十八年七月から助役四期、昭和五十二年一月町長初当選、三期目の昭和六十年九月二十四日死去。その他、昭和五十年から十年間田代町森林組合長を兼任。

最後のお別れに千百人が参列

しめやかに町葬が執り行われる

9月15日 おじいちゃん いつまでも

88歳以上の
お年寄り21人を慰問



山崎 ミツさん

柴立 88歳



武田 ケサノさん

岩崎 88歳



山下 善五郎さん

内ノ牧 89歳



中村 ソデさん

池野 89歳



永山 義盛さん

南松園 88歳



谷川 カ子マツさん

南松園 88歳



中野 三次郎さん

瀬戸口 88歳



柳田 フジさん

上柴立 88歳

九月十五日は敬老の日ですが、この機会にお年寄りの「心の張り」について考えてみましょう。

人間が生きていくうえで何が大切かを考えた時「心の張り」ではないかと思えます。お年寄りに気をつかい何もしてもらわないというのでは、

若さを保つ ”心の張り”

昨年、田代町の最高齢者であられた朝倉己之助さんが今年七月、百一歳でなくなられたため今年の最高齢者が柴立部落の富尾兵吉さん九十六歳にかわりました。

高齢者慰問

毎年九月十五日の敬老の日には先立ち、町内の八十八歳以上の長寿の家庭を訪問しています。

本年も九月十四日に二十一名のお年寄りの家庭を、町議会、婦人会等の代表により長寿を祝って記念品を贈り慰問いたしました。

満九十歳になられた方には、特別に記念品と県知事からの祝いのお礼のことが贈られました。

敬うというよりも「心の張り」を奪ってしまうことになるのではないのでしょうか。

「ある人から頼まれて、新聞の切り抜きをするようになったんですよ。そうすると、忘れちゃいけないと頭を働かせるとハサミを使うんです。それが楽しいですね」と、あるおばあさんの楽しみのひとつを聞きました。また、あるおじいさんの若さを保つ秘けつを聞くと「朝起きると、植木の枝が伸びていたり、雑草が生えていると、気になってしょうがなくなくなるんです。そうするとホッとしますね」とのこと。

このように、ちょっとしたことをお年寄りにやってもらうことが「心の張り」や若さを保つ秘けつになっているのです。お年寄りは、動作もにぶくなっていくので、若い人のようにテキパキと物事を処理することはできません。だからといって、何もさせないでおくのは、かえってお年寄りを老け込ませることになりかねません。

敬老の日 おばあちゃん お元気で長生きしてください。



富尾 兵吉さん

柴立 96歳



「敬老の日慰問」長寿を祝う



西元 ケサカメさん

中尾 94歳



石原 虎次さん

久木野 94歳



馬庭 ケサマツさん

上原 94歳



前田 イトさん

南松園 95歳



小牧 義範さん

馬場 92歳



山崎 タ子さん

南松園 92歳



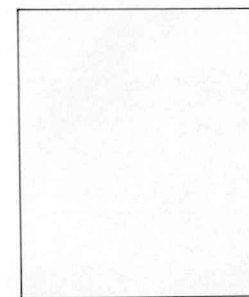
郷原 ユキさん

南松園 92歳



原ノ後 アキさん

西中部 92歳



比嘉 オタさん

新田 91歳



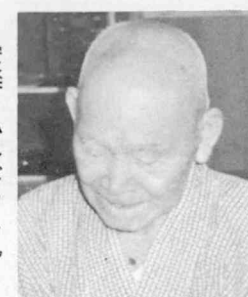
湯通堂 ハルさん

西中部 90歳



安楽 ハルギクさん

南松園 91歳



柳田 鶴熊さん

上柴立 91歳

教育だより

全員が主役

南大隅高校田代分校
運動会のシーズンになりました。本校では地域にきぎがけて九月十九日に第三十二回体育大会を開催いたしました。今年は人数も少なくなったのでPTAにも全員参加を呼びかけ、また、生徒会では自主的、積極的活動を合い言葉にして一学期のうちから計画をたてて主体的に活動をするてきました。



当日は三十度を越す炎天下で、八十二名の全員が汗とほりてまっくらになりながらがんばりました。なかには、一人で十二種目の競技に出場した人もおり、係りの仕事や応援団と息つくまもなく文字

どおり全員が主役の大会でした。また、PTAの方も午前と午後の二回の競技にほとんど全員が参加して大会を盛り上げていただきました。



「競技と係の仕事で応援まで手がまわらず少しさびしいでした。」

「一人五役くらいできつかったが全員が主役で今までで一番充実した気持ちでした。」というのが生徒達の声でした。この生徒達の熱意に校門脇の桜も季節はずれの花を添えてくれました。

十月一日から就職試験が始まりました。短大や専門学校等の進学、公務員希望の八名を除く三十六名が一般企業への就職を希望しております。今年は六十二年閉校の影響

と出ており例年より求人が少なくなりましたがそれでも現在までに六四七のおよそ十八倍の求人がきております。しかし、パート化の波も進行しているなどきびしい面もあるの、実力養成、人間性の育成がだいじです。家庭では勿論地域の方も励ましやご指導をよろしく願っています。

校内水泳大会

新記録出る

校内水泳大会は暑い日差しの下で盛大に挙行され、今年最後の水泳とあって、プール一ぱい水しぶきをあげ、水とたわむれ、思う存分泳ぎまくっていました。山坂達者実践の体力作りと、水泳の練習の成果があらがり、新記録が六個出ました。

- | | |
|--------|-----------|
| 25m自由形 | 六年 岩戸優子 |
| 25m平泳ぎ | 六年 福山敏史 |
| 50m平泳ぎ | 四年 重田智己 |
| | 四年 舞原貴恵 |
| | 六年 小梅枝さとみ |

一日汗をかく田代っ子たちのようす



校庭の整備作業の様子

田代小五年 Y・S
今日、ばあちゃんたちとみ

そ作りをしました。お父さんとお母さんは機械で豆つぶしで、私とめぐみちゃんや兄ちゃんとはあちゃんやと、豆をつぶしたのをまぜたりしました。ばあちゃんがついていたのでまねをしたら、とっても熱かったのて手を洗ってしまいました。手を洗った後めぐみちゃんたちと山を作ってこねたりしたら、おばあちゃんや、

「三角形や四角形や円のだんごや、いろいろな形を作ってやりなさい。」

と言ったので、私たちは夢中になって作りしました。三角や四角、また星などを作り、ばあちゃんにやったら、べったんこにしてつぶしました。大きなばらにいっぱい入れました。そして、鹿屋島の人に配ったり、鹿屋の人にくれるためにたくさん作りしました。みそを五つのたるに入れました。鹿屋島には小さいたる三つ、鹿屋は一つ、おうちは大きたるに一つ入れました。屋からも二時頃までしていたら、鹿屋のおばちゃんたちが来てこづかいをくださった。とっても楽しい一日でした。みそはとってもからいでした。

田代小六年 I・S

四校時に交通安全教室がありました。今日はおもに、自転車の乗り方の練習をしました。でもいろいろむずかしいことがあって、今までは、すぐおかしい乗り方をやっていたんだあと反省しました。そして一番勉強になったのは、

「車は急に止まらない。自転車では急に飛び出さない。」

前者は郷土の生活をじかに体験し、いいものは残し、受け継ぐという気持ち、後者は安全意識の高揚につながり、子どもの本心が語られています。

小中学校各種作品コンクールの結果

理科・作文

町内作文コンクールならびに理科作品コンクールが行われ、八十六名が入賞した。

☆入賞者は次の通りでした。

〔理科〕(町審査)

☆植物採集の部で入賞者

(敬称略)

。田中かずみ(田小一年)

。宮下しんや(同二年)。水

流えりか(同二年)。新山竜作(同三年)。牧原小百合(同三年)。牧福太郎(同三年)。水流通一(同三年)。浜川哲也(大小四年)。町忠由(同四年)。重田美香子(田小五年)。牧原真由美(同六年)。柴立きみよ(同六年)。山本大樹(同六年)。前迫学(同六年)。郷原直美(田中一年)。西方洋一(同一年)。鮎川靖(大中一年)。坂口のぞみ(同一年)。藤崎みづえ(同一年)。松ノ下大作(同一年)。池栗須充(同一年)。大浦地降(同一年)。山田修一(同一年)。山田智美(同一年)。毛下こずえ(田中二年)

☆昆虫採集の部で入賞者

。牧福太郎(田小三年)。

。宮下竜一(同三年)。時吉一彦(同三年)。重田智己(同四年)。牧大綱(同六年)。袖山いづみ(同六年)。神山みさき(同六年)

☆貝殻採集の部で入賞者

。赤池めぐみ(大小一年)。

。もといだいすけ(田小一年)。

。有里直美(同一年)。おおうらじともみ(同一年)。原沢政徳(同二年)。上ノ原リカ(同二年)。もといさとみ(大小二年)。福永雄二(

田小三年)。井手龍誠(同四年)。益満宏昭(同五年)。川路正秀(田中一年)。姫ヶ迫文男(同一年)。福永博樹(同一年)。安楽さおり(同一年)。宮園リカ(同一年)。近川留美(同一年)。鶴田真紀(同一年)。吉国利架(同一年)。舞原裕基(同一年)。松元鉄虫(同一年)。上吹越健一(同一年)。前田昌隆(同一年)。山下博実(同一年)。山下一美(同一年)。門前栄作(同二年)。今村直美(同二年)。瀬ノ口秀子(同二年)。上ノ原和代(同二年)。坂元正代(同二年)。篠原洋子(同二年)。近川優子(同二年)。鶴田洋子(同二年)。辺志切智美(同二年)。舞原美智代(同二年)。

☆岩石採集の部で入賞者

。水流えりか(田小二年)。

。木尾和則(大中一年)。中野浩文(同一年)

☆観察記録の部で入賞者

。大園まゆみ(田小一年)。

。中野光利(大小四年)。浜川智仁(同四年)。桑幡佳代(同四年)。那須みつ子(同四年)。上ノ原由加里(大中二年)。中島靖代(同二年)。大寺清美(田中二年)。川路聖子(同二年)。小園利江

(同二年)。宮前真理子(同二年)。迫美和(同二年)。辺志切みずす(同二年)。茅野由美(同二年)。宮園恵(同二年)。近川かすみ(同二年)。正木陽子(同二年)

△審査評▽

町理科部の先生方より

・総体的に出品点数が少ないようである。

・特に、観察・研究記録の力作が少ない。

・植物採集では、

小学校低学年：三十種

小学校高学年：五十種

中学生：八十種

が望ましい。

※乾燥が足りない

※はり方の工夫

を考えて欲しい。

・研究計画の段階で、指導助言が必要ではないか。

・採集会、名付け会等に多数の生徒の参加が望まれる。

〔作文〕

。ひらはらりえ(田小一年)。

。まちなきよ(大小一年)。

。川前里奈(田小二年)。大原ルイ子(大小二年)。時吉一彦(田小三年)。柳田進一(大小三年)。東郷千歳(同四年)。迫竜森(田小四年)。

。川辺直美(大小五年)。安楽めぐみ(田小五年)。袖山



あなたも路傍三百種に親しみませんか

昭和五十九年度から始まった「路傍三百種に親しむ運動」は、各方面で確かな広がりをみせつつあります。これから年間を通して採集に励んで下さい。

「路傍三百種に親しむ運動」は、それぞれの地域で選定していくことになっています。

第七回村づくり

壮年ソフトボール大会

壮年ソフトボール大会が去る九月三日～四日の二日間に行われ、中央グラウンドで開催されました。

大会のねらいは、村づくりの基本は、健康づくりからを合言葉に例年実施している三地区対抗の壮年ソフトボール大会を発展的に解消し、健康増進と親睦を深め今後の村づくりの一層の充実を図るために開催される本大会に、麓地区、川原地区、花瀬地区、大原地区、上部地区の四十代、五十代以上の二チームずつが参加して行われました。



授賞される川原チーム

例えば、
・植物 百四十五種
・貝 五十種
・昆虫 九十種
・岩石 十五種
などがあります。
県立博物館では、いろいろな内容の物が展示されています。ご家族で鹿児島市内に出かけるようなことがありますたら、立ち寄って見学されると、採集のしかた、標本のしかたなどが学習できます。

300種



優勝チームの麓地区の皆さん

- ★四十代の成績
- ・一位 麓地区
 - ・二位 花瀬地区
 - ・三位 上部地区
- ★五十代の成績
- ・一位 川原地区
 - ・二位 麓地区
 - ・三位 上部地区

スポーツの秋!!

体育の日制定について

十月十日は「体育の日」国民の祝日の一つでもある。今から二十一年まえ、一九六四年（昭和三十九年）に、東京オリンピック（第十八回オリンピック東京大会）がひらかれた。十五日間にわたって、東京都を中心に、競技が行われた。

この東京オリンピックを記念して、その二年後の一九六六年（昭和四十一年）体育の日がもうけられた。

東京オリンピックは、アジアで最初に開かれたオリンピックで東海道新幹線が開通したのもこの年十月一日である。

新幹線は一つには、オリンピックにくる各国選手団や、観客の輸送の便をはかるため完成がいそがれた。日本はこのオリンピックで体操、女子バレーボールなど十六種目で優勝した。その後、体育熱、スポーツ熱はいっそう盛んになってきた。

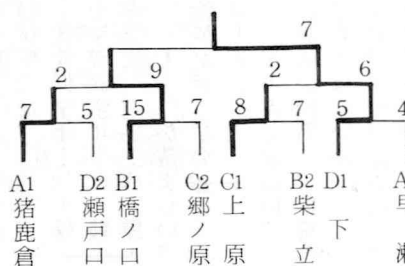
このごろは、大変過しやすく運動のしやすい季節です。ご家族で自分達に適した目標を持って、スポーツに励んでいきましょう。

このごろは、大変過しやすく運動のしやすい季節です。ご家族で自分達に適した目標を持って、スポーツに励んでいきましょう。

A チーム 準々決勝



A チーム優勝下小組の皆さん

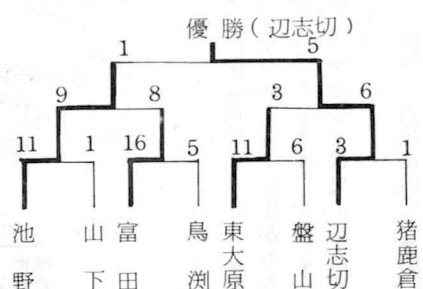


九月二十二日、中央運動場ほか六会場で開催された第十五回ソフトボール大会が開催された。当日は、快晴の天気となり各会場には早々に各選手が集まり、午前八時二十分に一斉に試合が開始された。結果は次のとおりでした。

B チーム 準々決勝



B チーム優勝の辺志切小組の皆さん



小組合ソフトボール大会に
四十チームが参加

〈大会評〉 各チームともよく練習の成果が出て各試合の中で好守備が見られた。また投手の四十代についても大変好評でした。